

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 翻訳センター

コード番号 2483 URL <http://www.honyakuctr.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 東 郁男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼総務部長

(氏名) 中本 宏

TEL 06-6231-8544

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,502	13.9	150	42.1	148	53.5	79	37.1
23年3月期第2四半期	2,196	7.7	106	98.9	96	76.6	57	103.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 78百万円 (37.4%) 23年3月期第2四半期 57百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4,707.66	—
23年3月期第2四半期	3,963.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,042	2,131	70.0
23年3月期	3,119	2,120	67.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,131百万円 23年3月期 2,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	4,000.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	11.4	350	25.1	350	29.5	180	28.8	10,685.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	16,845 株	23年3月期	16,845 株
24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期2Q	16,845 株	23年3月期2Q	14,590 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

また、上記の前提条件その他関連する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの立て直しによる生産活動の回復が進み、持ち直しの動きが見られました。しかし、欧州の財政危機による円高の進行や海外景気の下振れリスクへの懸念から、今後の景気動向は不透明感が続いております。このような経済環境のもと、当社グループの売上高は、前年同期比13.9%増の2,502百万円となりました。

分野別の売上の状況につきましては、特許分野は、当社グループの主要顧客である特許事務所からの受注増に加え、大手特許事務所や企業の知的財産関連部署の新規開拓が奏功したことから、売上高は前年同期比13.7%増の711百万円となりました。医薬分野は、メガファーマから獲得した新薬申請資料や治験関連資料など大型案件に加え、国内外の製薬会社を中心とした既存顧客への拡販が奏功したことから、売上高は前年同期比16.2%増の847百万円となりました。工業分野は、電力供給不足の影響は軽微にとどまり、自動車・部品メーカーからの受注がリーマン・ショック前の水準まで回復したことに加え、通信企業やコンテンツ関連企業からの受注を獲得したことから、売上高は前年同期比16.4%増の615百万円となりました。金融分野は、ディスクロージャー関連、特に株主総会関連資料の受注が安定的に推移したことに加え、金融機関や法律事務所からファンド関連資料の受注を獲得したことから、売上高は前年同期比5.1%増の232百万円となりました。

利益面につきましては、売上原価率の低減と販売管理費のコントロールが奏功したことから、営業利益は前年同期比42.1%増の150百万円、経常利益は前年同期比53.5%増の148百万円、四半期純利益は前年同期比37.1%増の79百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は3,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円の減少となりました。

これは、前連結会計年度末に比べ流動資産が58百万円減少、固定資産が18百万円減少したことによるものであります。

主な要因は、流動資産の減少は未払法人税等の支払いや配当金の支払いなどにより現金及び預金が82百万円減少したことによるものであります。固定資産の減少は事務所移転に伴う敷金の返還等により投資その他の資産が28百万円減少したことによるものであります。

負債は911百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円の減少となりました。

主な要因は、未払法人税等や未払消費税等が減少したため流動負債が83百万円減少したことによるものであります。

純資産は2,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が配当により67百万円減少したものの、四半期純利益の計上により79百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1百万円の収入（前年同四半期は134百万円の収入）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上による収入148百万円および法人税等の支払額による支出108百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは19百万円の支出（前年同四半期は205百万円の支出）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出35百万円および差入保証金の回収による収入27百万円でありま

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは67百万円の支出（前年同四半期は319百万円の収入）となりました。

これは全て、配当金の支払額による支出であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年9月30日付プレスリリース「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました数値に変更しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,811,980	1,729,543
受取手形及び売掛金	726,925	720,035
仕掛品	52,772	89,833
その他	116,960	111,064
流動資産合計	2,708,638	2,650,476
固定資産		
有形固定資産	30,685	55,013
無形固定資産	147,632	133,568
投資その他の資産	232,904	203,906
固定資産合計	411,222	392,487
資産合計	3,119,860	3,042,964
負債の部		
流動負債		
買掛金	416,215	417,587
未払法人税等	114,235	73,553
賞与引当金	94,709	107,043
役員賞与引当金	32,000	18,900
その他	201,055	157,578
流動負債合計	858,214	774,662
固定負債		
退職給付引当金	83,654	90,622
役員退職慰労引当金	57,300	45,900
固定負債合計	140,954	136,522
負債合計	999,169	911,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	1,059,746	1,071,667
株主資本合計	2,127,012	2,138,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,017	△1,391
為替換算調整勘定	△5,304	△5,761
その他の包括利益累計額合計	△6,321	△7,153
純資産合計	2,120,691	2,131,780
負債純資産合計	3,119,860	3,042,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	2,196,532	2,502,468
売上原価	1,256,499	1,396,584
売上総利益	940,033	1,105,883
販売費及び一般管理費	833,982	955,165
営業利益	106,050	150,718
営業外収益		
受取利息	233	285
受取配当金	165	225
受取手数料	—	384
その他	3	0
営業外収益合計	402	895
営業外費用		
為替差損	3,724	2,813
株式交付費	5,668	—
その他	146	—
営業外費用合計	9,539	2,813
経常利益	96,913	148,800
特別利益		
貸倒引当金戻入額	287	—
特別利益合計	287	—
特別損失		
固定資産除却損	—	543
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,537	—
特別損失合計	5,537	543
税金等調整前四半期純利益	91,663	148,256
法人税等	33,838	68,956
少数株主損益調整前四半期純利益	57,825	79,300
四半期純利益	57,825	79,300

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57,825	79,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△374
為替換算調整勘定	△750	△457
その他の包括利益合計	△732	△831
四半期包括利益	57,093	78,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,093	78,468
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	91,663	148,256
減価償却費	23,085	28,161
のれん償却額	4,142	4,142
貸倒引当金の増減額(△は減少)	259	178
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,230	12,351
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△11,400
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	16,000	△13,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,563	6,968
受取利息及び受取配当金	△398	△510
有形固定資産除却損	—	543
株式交付費	5,668	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,537	—
売上債権の増減額(△は増加)	22,866	6,191
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,676	△37,885
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,150	1,438
その他	6,127	△36,122
小計	165,919	109,213
利息及び配当金の受取額	398	760
法人税等の支払額	△32,237	△108,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,080	1,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△35,526
無形固定資産の取得による支出	△2,385	△7,605
定期預金の預入による支出	△203,000	△3,000
貸付金の回収による収入	58	58
差入保証金の差入による支出	△688	△353
差入保証金の回収による収入	633	27,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,382	△19,309
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	377,250	—
配当金の支払額	△52,380	△67,380
株式の発行による支出	△5,668	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	319,201	△67,380
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	△156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	247,974	△85,437
現金及び現金同等物の期首残高	1,062,186	1,489,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,310,160	1,403,846

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	翻訳事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	2,132,171	2,132,171	64,361	2,196,532
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	11,106	11,106
計	2,132,171	2,132,171	75,467	2,207,639
セグメント利益又は損失(△)	111,211	111,211	△1,214	109,997

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣翻訳事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	111,211
「その他」の区分の利益	△1,214
セグメント間取引消去	196
のれんの償却額	△4,142
四半期連結損益計算書の営業利益	106,050

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	翻訳事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	2,433,845	2,433,845	68,622	2,502,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,781	1,781	35,760	37,541
計	2,435,627	2,435,627	104,383	2,540,010
セグメント利益又は損失(△)	161,916	161,916	△7,521	154,395

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣翻訳事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	161,916
「その他」の区分の利益	△7,521
セグメント間取引消去	465
のれんの償却額	△4,142
四半期連結損益計算書の営業利益	150,718

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。